



豊橋市 予算の 見どころ

平成31年度

豊橋市予算のみどころ

目次

▶ 平成31年度 豊橋市予算の紹介	2
▶ 一般会計の財政状況	4
▶ 重点的に推進する取組み	
・ 切れ目のない子育て支援の取組み	8
・ 子どもの学習環境を充実させる取組み	12
・ 若者の活躍を応援する取組み	15
・ 定住外国人の進学や就労を支援する取組み	17
▶ 戦略計画に基づく主な取組み	
・ 活力みなぎる産業創出プロジェクト	22
・ 選ばれるまち豊橋プロジェクト	24
・ ほの国創生プロジェクト	27
・ しあわせファミリープロジェクト	29
・ いきいき長寿プロジェクト	31
・ 都市強靱化プロジェクト	33
・ コンパクト＋ネットワーク推進プロジェクト	35
・ 未来に羽ばたく人づくりプロジェクト	38
・ まちECO実践プロジェクト	40
・ その他の事業	42

※ 各取組みのページ右上には、事業に関連するSDG sの目標（6ページ参照）を記載しています。

※ 各項目の数値は表示単位未満を四捨五入で処理しているため、合計と内訳の数値が一致しない場合があります。

※ 新元号公表前のため、改元後の2019年5月以降についても「平成」により表記しています。

平成31年度 豊橋市予算の紹介

新たな時代へ走り出す、ひとづくり・まちづくり予算

予算の特徴

子育て支援や子どもの学習環境整備などに力点を置いた予算を編成

新年度は、第5次総合計画の着実な進展を図るとともに、次期総合計画の策定に向けて、次なる10年、20年後の「とよはし」を見据えた新たな施策を展開していくため、子育て支援や子どもの学習環境の充実など4つの取組みに力点を置いた予算を編成しました。

〔重点的に推進する取組み〕

切れ目のない子育て支援の取組み

子どもの学習環境を充実させる取組み

若者の活躍を応援する取組み

定住外国人の進学や就労を支援する取組み

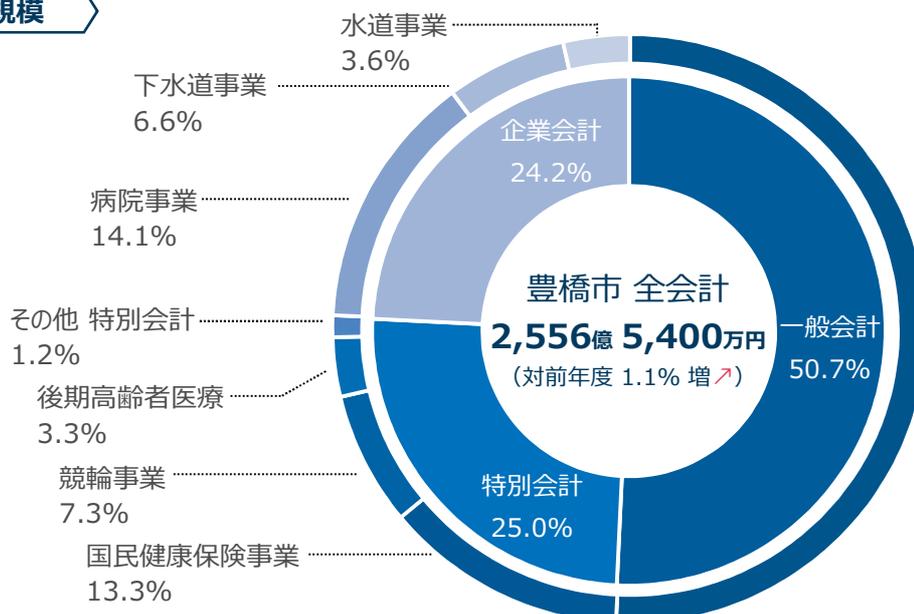
【一般会計】 0～2歳児について第2子の保育料を半額軽減するなど子育て施策を充実

一般会計の歳入では、市税で過去最大の658億円を計上しました。歳出では、幼児教育・保育の無償化に併せ、無償化対象外の0～2歳児について第2子の保育料を半額軽減するなど子育て支援施策を充実させたほか、平成31年春にオープンする豊橋初の道の駅「とよはし」関連費用などを盛り込みました。また、消費税増税対策としてプレミアム付商品券事業などを計上しました。

【特別・企業会計】 競輪事業で本市初となる全日本選抜競輪（GI）を開催

特別会計では、競輪事業で本市初となる全日本選抜競輪（GI）の開催や、国民健康保険事業でAIを活用した特定健康診査の未受診者勧奨などを盛り込みました。企業会計では、水道事業で東三河4市町村での水道技術支援やスマートメーターによる自動検針のモデル事業に取り組むほか、病院事業では平成31年4月に手術センター棟を開設し、最新の医療技術に対応します。

予算規模



一般会計

1,297 億 4,000 万円 (対前年度 1.1% 減↓)

平成30年度予算に東三河広域連合へ介護保険者が統合されたことに伴う予算の一時的な増加があったことが減少の主な要因です。その影響を除くと、対前年度0.9%の増加となっています。

特別会計

639 億 5,300 万円 (対前年度 4.2% 増↑)

地域下水道事業が処理場再編のための送水管整備完了に伴い減少した一方で、競輪事業において全日本選抜競輪(G I)の開催により予算規模が大きく増加した影響などにより、特別会計全体で4.2%増加しました。

競輪事業	186億9,800万円 18.8% 増↑	国民健康保険事業	338億9,300万円 0.3% 減↓
総合動植物公園事業	18億2,700万円 3.5% 減↓	公共駐車場事業	2億4,600万円 21.8% 増↑
地域下水道事業	9億6,800万円 24.6% 減↓	母子父子寡婦福祉資金 貸付事業	1,200万円 0.0% →
後期高齢者医療	83億900万円 0.7% 増↑		

企業会計

619 億 6,100 万円 (対前年度 2.9% 増↑)

下水道事業において中島処理場内ポンプ棟建設のため処理区再編事業が増加したことや、病院事業において抗がん剤や血液製剤等の薬品費が増加した影響により企業会計全体で2.9%増加しました。

水道事業	92億5,200万円 0.3% 増↑	下水道事業	167億8,900万円 7.6% 増↑
病院事業	359億2,000万円 1.4% 増↑		

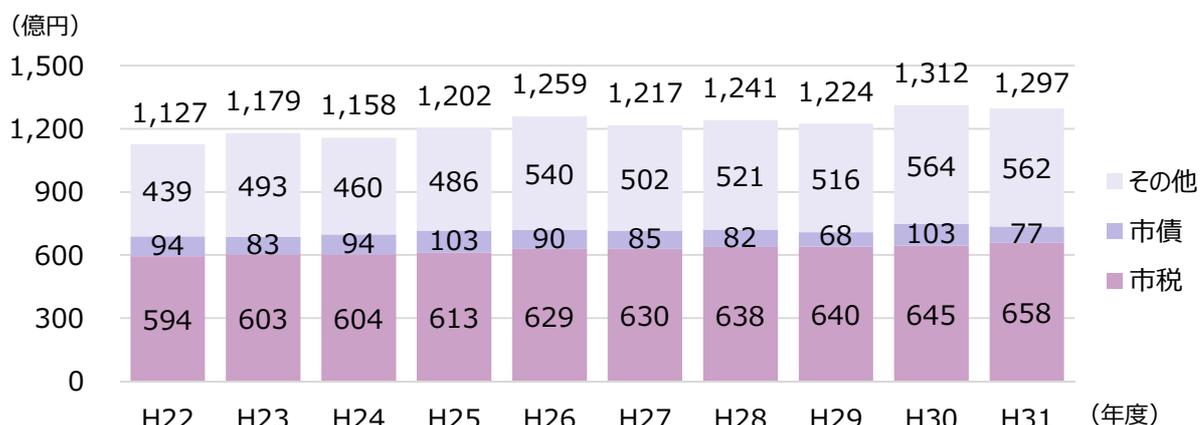
〔参考〕前年度当初予算額

一般会計	1,312 億 1,000 万円	特別会計	613 億 7,400 万円	企業会計	602 億 3,700 万円
全会計	2,528 億 2,100 万円	※ 一般会計の介護保険者統合に伴う影響額を除いた額：1,286億1,130万円			

一般会計の財政状況

予算規模の推移

歳入・歳出総額



市税割合(%)	52.7	51.2	52.2	51.0	50.0	51.8	51.4	52.3	49.2	50.7
市債依存度(%)	8.4	7.0	8.1	8.6	7.2	7.0	6.6	5.5	7.8	5.9
一般財源比率(%)	69.5	67.8	69.3	67.2	65.3	67.3	66.2	66.2	63.6	63.2
自主財源比率(%)	65.4	62.9	63.5	62.3	62.6	62.4	62.0	63.1	61.5	62.4

市税

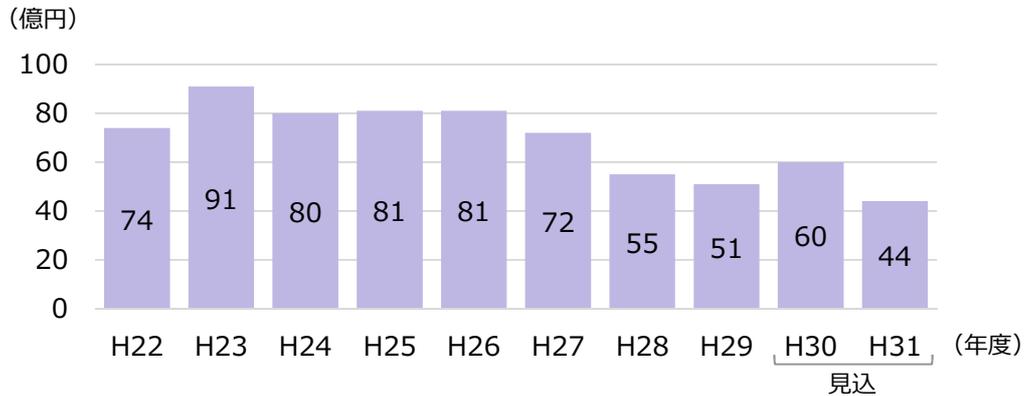
項目	H31年度	H30年度	増減	備考	
市税	658.0億円	645.0億円	+13.0億円	過去最高額	
主な内訳	個人市民税	231.8億円	230.3億円	+1.5億円	景気状況を反映した給与所得の増
	法人市民税	51.3億円	45.4億円	+5.9億円	国内景気の動向等による企業業績の状況による増
	固定資産税	276.3億円	272.5億円	+3.8億円	家屋にかかる新增築の増
	市たばこ税	22.8億円	22.8億円	0.0億円	

地方交付税等

項目	H31年度	H30年度	増減
地方交付税	8.0億円	8.8億円	△0.8億円
うち普通交付税	2.0億円	5.0億円	△3.0億円
臨時財政対策債	7.0億円	11.5億円	△4.5億円
普通交付税+臨時財政対策債	9.0億円	16.5億円	△7.5億円
地方消費税交付金	69.0億円	70.0億円	△1.0億円

財政調整基金

年度末残高の推移



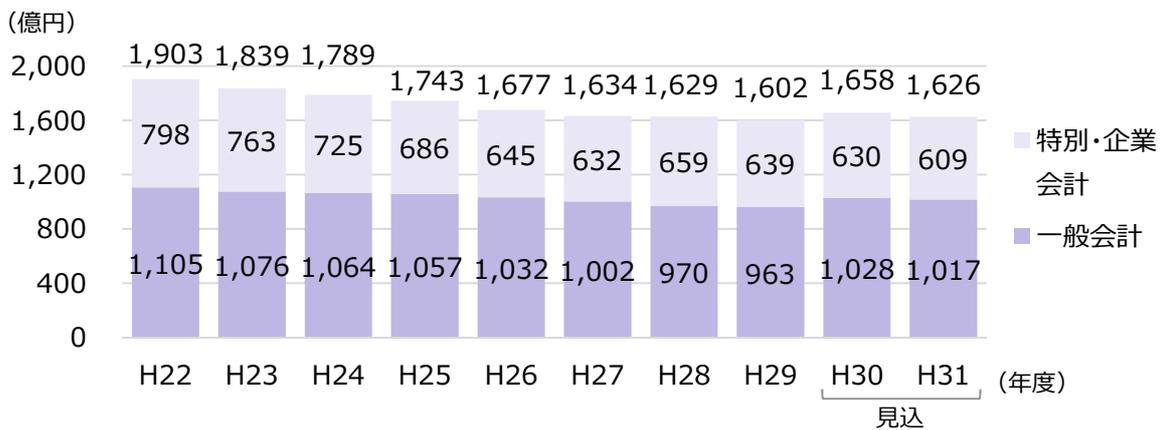
H31年度中の増減

積立 約13.0億円 利子 + H30年度決算剰余金 × 1/2

取崩 29.6億円 +0.1億円 (H30年度：29.5億円)

地方債

年度末残高の推移



項目	H31年度末(見込)	H30年度末(見込)	増減
一般会計	1,017億円	1,028億円	△11億円
うち建設地方債	647億円	628億円	+19億円
うち特別地方債 (※)	370億円	400億円	△30億円
全会計	1,626億円	1,658億円	△33億円

※特別地方債は、減税補てん債、臨時財政対策債の合計を計上しています。

【参考】SDGs (持続可能な開発目標)の推進

SDGs(持続可能な開発目標)とは

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。17の目標と169のターゲットで構成され、「誰一人取り残されない世界の実現」を基本理念に掲げています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



「持続可能な豊橋」の推進

豊橋市では、インドネシアでの水道技術支援やボルネオ島での野生動物保全活動などの国際貢献に資する取組みのほか、バイオマス活用センターの整備による地球温暖化防止や循環型社会の推進など多くの施策にSDGsの理念を取り入れ、行政課題の解決や地域活性化に役立てています。

新年度におきましても、誰もが安心して暮らせる地域を目指し「持続可能な豊橋」を推進します。なお、「予算の見どころ」掲載の各取組みには、関連するSDGsの目標を記載しています。



重点的に推進する取組み



■ 少子化対策の推進

豊橋市独自に、保育料等の軽減をより一層進めます

平成31年10月1日から、国が実施する幼児教育・保育の無償化に加えて、市独自で保育料等の軽減を実施します。0～2歳児について、新たに第2子の保育料を半額に軽減するなど、経済的支援を拡充します。

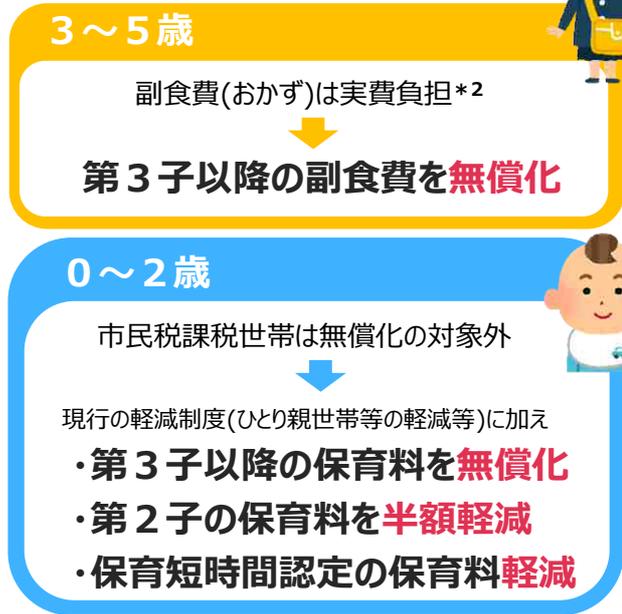
《 幼児教育・保育の無償化（国） 》

対象世帯	3～5歳	全ての世帯
	0～2歳	市民税非課税世帯
対象となるサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認可保育所 ・ 認定こども園 ・ 幼稚園（月額25,700円まで） ・ 障害児通園施設 	
	<p>！ 副食費（おかず）等の実費は無償化対象外</p>	
保育認定を受けた子*1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園・認定こども園 1号認定子どもの預かり保育 月額11,300円まで ・ 認可外保育施設 ・ 一時預かり ・ 病児保育 ・ ファミリーサポートセンター 複数のサービスを合わせて 3～5歳 …月額37,000円まで 0～2歳 …月額42,000円まで 	

*1 認可保育所や認定こども園の保育を利用できない子

《 市の独自施策 》

認可保育所、認定こども園、幼稚園



*2 年収360万円未満相当の世帯等は国施策により無料

ポイント

平成31年10月1日より国が実施する幼児教育・保育の無償化にあわせて、市独自の保育料等*3の軽減を行います。

3～5歳

(1) 給食費(副食費)の軽減 新規

18歳未満第3子以降の給食費(副食費)を、全ての世帯で無償化します。

0～2歳

(1) 第3子以降の保育料を無償化 新規

18歳未満第3子以降の保育料を、全ての世帯で無償化します。

(2) 第2子の保育料を半額に軽減 新規

18歳未満第2子の保育料を、全ての世帯で半額に軽減します。

(3) 保育短時間認定の保育料軽減 新規

保育短時間認定の保育料を、全ての世帯で軽減します。

*3 保育料等 … 認可保育所、認定こども園、幼稚園の保育料と副食費

事業費

事業費	3,200万円
軽減額	2,268万円

お問い合わせ

保育課
(0532) 51-2315
hoiku@city.toyohashi.lg.jp



不妊・不育専門相談センターを開設します 新生児聴覚検査への助成を開始します

不妊・不育に悩む方が、専門的な相談ができる機会の提供や講演会等を実施します。
また、全ての新生児を対象とした聴覚検査への助成を実施することにより、子育て支援を推進します。



イラスト(右)：一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会の許可を得ています。

ポイント

1. 不妊・不育専門相談センターの開設 新規
不妊・不育の専門的な相談やサポート体制の整備、また不妊治療の啓発を進め、不妊・不育に悩む方を支えるシステムをつくります。

2. 新生児聴覚検査への助成 新規
産科医療機関に入院中の新生児に対して、先天性難聴を早期に発見するための聴覚検査に助成します。

【対象者】 平成31年6月1日以降の出生児
【実施時期】 原則生後7日ごろまで
【実施回数】 1回

3. 妊娠・出産・子育て総合相談窓口の充実
お母さんが気軽に赤ちゃんの身体測定や育児相談ができます。
保健師・助産師・保育士がお母さんの育児をサポートします。

事業費

1,342万円

お問い合わせ

こども保健課 [1. 2. 3.]
(0532) 39-9160
kodomohoken@city.toyohashi.lg.jp

こども未来館 [3.]
(0532) 21-5528
coconico@city.toyohashi.lg.jp

仕事と子育てが両立しやすい環境づくりに取り組みます

経済的支援だけでなく、子どもを安心して預けられる環境づくりを進めることで、仕事と子育ての両立を応援します。



ポイント

利用者ニーズの高い0～2歳児の受け入れなどを中心に、仕事と子育ての両立がしやすい環境づくりに取り組みます。

(1) 保育コンシェルジュによる利用者支援事業 新規

入園前から入園に至るまで、保育課に専任の職員を配置し保育サービスを必要とする保護者への継続的な支援を実施します。

(2) 幼稚園の満2歳児の預かり保育事業 新規

幼稚園(4園)で保育認定を受けた満2歳児の預かり保育を始めます。

(3) こども未来館での一時預かり事業 拡充

利用者ニーズが増えている一時預かりについて、こども未来館で新たに実施し、実施か所数を4か所から5か所に増やします。

(4) 私立幼稚園空調設備設置費補助金 新規

幼稚園児の熱中症を防止するため、私立幼稚園の空調設備の設置費を補助します

事業費

2,759万円

お問い合わせ

保育課

(0532) 51-2315

hoiku@city.toyohashi.lg.jp



児童クラブを大幅に増設（6クラブ） 夏休み限定児童クラブなど放課後児童対策を強化します

働く子育て世帯を応援するため、新たに児童クラブ6クラブを開設するほか、モデル事業として夏休み期間限定の児童クラブの開設や英会話教室の実施に取り組み、放課後児童対策の充実を図ります。



ポイント

1. 新たな児童クラブを大幅に増設 ▶ 拡充

平成31年度の児童クラブ数 + 6クラブ
 公営児童クラブ数 50 ⇒ 53
 民営児童クラブ数 37 ⇒ 40

【公営】

牛川第三児童クラブ、幸第三児童クラブ、旭第二児童クラブ

【民営】

汐田たけのご第二、岩田たんぼぼ第二、豊橋ひがし（仮称）

2. 夏休み限定児童クラブの開設 ▶ 新規

利用者ニーズが高い夏休み期間の利用に限定した児童クラブを、新たにモデル事業として1か所開設します。

3. 「イングリッシュ サマースクール（仮称）」のモデル実施 ▶ 新規

小学校英語の教科化への対応と「英会話のできる豊橋っ子」の育成推進を図るため、夏休み期間中に、学校勤務のALT等による英会話教室を児童クラブ内でモデル開講します。

事業費

7億5,927万円

お問い合わせ

こども家庭課

(0532) 51-3159

kodomokatei@city.toyohashi.lg.jp



算数の授業を1年間通して英語で実施 英語で学ぶ「イマージョン教育」を進めます

小学1年生から6年生まで、毎日の授業を英語で受ける「イマージョン教育」の実施に向けてモデル事業を開始します。英語と日常的にふれあい、世界で活躍できる力を持った子どもを育てます。



ポイント

1. 「英語で学ぶ」モデル事業 拡充

豊橋市立八町小学校をモデル校として、平成29年度から一部教科で実施してきた「イマージョン教育」を拡充します。

・ 算数におけるイマージョン教育コースの新設 新規

3年生算数の授業を1年間通して英語で行う、選択制の「イマージョン教育コース」（仮称）を新設します。

・ 全学年でのイマージョン教育実施に向けた準備 新規

小学1年生～6年生の教育課程（国語、道徳を除く）を英語で行うための準備として、学習指導要領に準拠した教材・教具の作成や教授法の研究等を行います。

・ 特認校制度の活用 新規

八町小学校を、通学区域に関わらずイマージョン教育を受けられる特認校とするための準備を進めます。

事業費

1億4,117万円

お問い合わせ

教育政策課

(0532) 51-2819

kyoikuseisaku@city.toyohashi.lg.jp

学校教育課（教育会館）

(0532) 33-2113

gakkoukyoiku@city.toyohashi.lg.jp



「イマージョン教育」って何？

★国語・道徳以外の授業を英語で行い、英語に浸りきった生活を通して英語を身につける教育法。「イマージョン＝浸すこと」

全小学校へタブレット型端末を配備 ICTを活用した子どもの教育支援を進めます

全小学校でタブレット型端末を活用したわかりやすい授業を実現し、一人ひとりの主体的な学びを深めます。授業等に遠隔参加できる分身ロボットを導入し、入院等で学校に通えない子どもの学びを支援します。



タブレット型端末を活用したグループワーク



校外における調べ学習



「分身ロボット」イメージ

ポイント

1. 全小学校へタブレット型端末を配備 拡充

全小学校へタブレット型端末を配備し、どの教科でもタブレット型端末を使った授業を行うことで、子どもの学習への興味を引き出し、新しい学びを実現します。

2. 分身ロボットを活用した院内学級等への教育支援 新規

入院等で学校に通えない子どもが、授業等に遠隔参加できる分身ロボットを導入し、学習支援や心のサポートを行います。

事業費

2億4,370万円

お問い合わせ

学校教育課（教育会館）
(0532) 33-2113
gakkoukyoiku@city.toyohashi.lg.jp

■ 小中学校施設の教育環境整備

木の香る高根小学校校舎が完成 小中学校への空調設置や校舎等のリニューアルを進めます

子どもたちの学習の場であり、地域の拠点でもある学校施設について、学校の老朽化対策を進め、安全の確保とともに教育環境の向上を図ります。



高根小学校 完成イメージ



高根小学校 建設現場見学会の様子

ポイント

1. 高根小学校 校舎改築等事業

平成31年4月から一部木造の普通校舎棟の供用を開始します。
平成31年度には木造の特別教室棟が完成します。

【施設概要】

普通校舎棟：鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造 3階建、木造 2階建
3,082㎡

特別教室棟：木造平家建 407㎡

事業費

29億902万円

お問い合わせ

教育政策課

(0532) 51-2806

kyoikuseisaku@city.toyohashi.lg.jp

2. 小中学校施設全面リニューアル工事

校舎		屋内運動場	
細谷小 (南校舎) I期	飯村小 (北校舎) I期	大村小	松葉小 I期
玉川小 (南校舎) I期	谷川小 (北校舎) I期	嵩山小	吉田方小
二川南小 (北校舎) I期	本郷中 (北校舎) I期	鷹丘小	青陵中 II期
豊南小 (北校舎) I期		豊南小	羽田中 II期

3. 空調設備設置事業

良質な教育環境を整えるため、全小中学校74校すべての普通教室及び授業で使用する特別教室にエアコンを設置します。

(平成30年度繰越予算 45億7,800万円)

■ UIターン就業促進による産業人材の確保

地域産業の担い手となる人材を呼び込みます

就業等をきっかけとした東京23区からの移住や首都圏における企業の採用活動への支援、企業と一体となった奨学金返還支援により、地域産業の担い手となる人材を呼び込みます。



ポイント

1. 就業等を契機とした首都圏からの移住の促進

・ 移住支援事業費補助金 新規

東京23区在住者又は23区への通勤者が、県のマッチング支援を通じて市内の中小企業等に就職し、本市に転入した場合等に、移住支援金を支給します。

・ UIターン就業促進補助金

首都圏で開催する合同企業説明会等への出展費用の一部を助成するほか、首都圏から就職を機に本市に転入した勤労者を雇い入れた中小企業に奨励金を支給します。

2. 若者を呼び込むための奨学金返還支援事業

・ 奨学金返還支援補助金

大学等を卒業した35歳未満の者が市内の中小企業に就職し、本市に居住した場合に、市と就職先の企業が一体となって在学中に借り入れた奨学金の返還を支援します。

事業費

1,441万円

お問い合わせ

商工業振興課

(0532) 51-2437

shokogyo@city.toyohashi.lg.jp

若者の自発的なまちづくり活動等を応援します

学生や若手社会人などの主体的な活動を支援し、若者目線で地域の活力を高めるとともにまちづくりの担い手を掘り起こします。また、こうした活動を通じて本市の仕事や暮らしの魅力に気づき、将来にわたり住む場所として選ばれるよう、様々な角度から本市の魅力をもPRします。

学生の学びと交流を
創出します

学生の学びと交流空間の整備



若者主体の社会貢献
活動を支援します

道の駅で学生ワーク
ショップを開催します



わかば補助金



学生デザインワークショップ



ポイント

1. 学生の学びと交流空間の整備 新規

南部窓口センター2階の遊休空間を活用し、学生の学びと交流を創出するスペースを整備します。

2. 「わかば補助金」の新設 新規

市民協働推進補助金に若者向けメニュー「市民活動若者支援補助金（わかば補助金）」を新設し、若者が行う公益的な社会貢献活動を支援します。

【補助対象者】

中学校卒業後の15歳から30歳未満のグループ（5人以上）

【補助率】

10/10（上限10万円）

3. 学生デザインワークショップの開催 新規

民間事業者と連携し、学生が道の駅「とよはし」の商品パッケージ等をデザインするワークショップを開催します。

事業費

1,812万円

お問い合わせ

産業政策課 [1.]

(0532) 51-2640

sangyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp

市民協働推進課 [2.]

(0532) 51-2483

shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp

未来創生戦略室 [3.]

(0532) 51-2180

sosei@city.toyohashi.lg.jp

初期支援校「みらい」の2校目を羽田中学校に新設します

平成30年度に新設された外国人生徒のための初期支援校「みらい」の2校目が新設されます。来日間もない外国人生徒だけでなく、市外から転入してきた外国人生徒にも日本語習得のレベルに応じて、支援を行うことができるようになります。

初期の日本語指導や数学、英語の勉強を中心に、日本の学校生活や文化についても学びます。



ポルトガル語やタガログ語の通訳が常駐しています

お昼はお弁当です。



8週間の通級期間を終えると修了証を渡します。

ポイント

1. 初期支援校「みらい」2校目の新設 新規

来日間もない外国人生徒や日本語の習得が不十分な生徒が、自分の将来に明るい希望をもてるように支援します！！

- ・ **豊橋市の東西に設置することでより通しやすい環境に**

豊橋市の東部方面にある初期支援校「みらい」に加え、西部方面にある羽田中学校に新設されることで、西部や南部方面に住んでいる外国人生徒も通級ができるようになります。

- ・ **国外からだけでなく市外から転入する生徒の支援も開始**

来日間もない外国人生徒に加え、市外から転入してくる生徒も、日本語習得の状況に応じて支援を行います。

事業費

9,050万円

お問い合わせ

学校教育課

(0532) 51-2826

gakkoukyoiku@city.toyohashi.lg.jp

初期支援校「みらい」って何？



★平成30年度豊岡中学校に新設された外国から来た生徒を支援するための通級教室です。

★通級期間は8週間で、生活適応支援や初期の日本語指導を集中的に行います。

★月～木曜日は「みらい」に通級し、金曜日は居住地の在籍校で学ぶことにより、修了後の学校生活へスムーズに移行できるよう支援しています。

進学や就職などを目指す 外国人中高生の日本語学習を支援します

日本語能力が不足しているために中学、高校での教科学習が十分にできていない外国人中高生への日本語指導や学習指導を行うことで、基礎的学力を身につけさせ、進路開拓へとつなげていきます。

《 豊橋市の外国人児童・生徒に対する日本語教育 》



教室のイメージ

ポイント

1. 定住外国人等高校生日本語学習支援事業 **新規**

これまで支援の無かった外国人高校生向けの日本語学習支援を新たに開始します。豊橋市立豊橋高等学校生徒等を対象として、基本的な日本語学習や補助的な学習指導を行います。

2. 定住外国人等中学生アフタースクール事業 **新規**

「みらい」をはじめとする来日間もない生徒等への初期支援の次のステップとして、高校に進学をすることをめざす中学生を対象として、日本語学習や宿題を題材にした補助的な学習指導を行います。

事業費

384万円

お問い合わせ

多文化共生・国際課

(0532) 51-2054

kyoseikokusai@city.toyohashi.lg.jp

乗合事業運転士確保支援事業

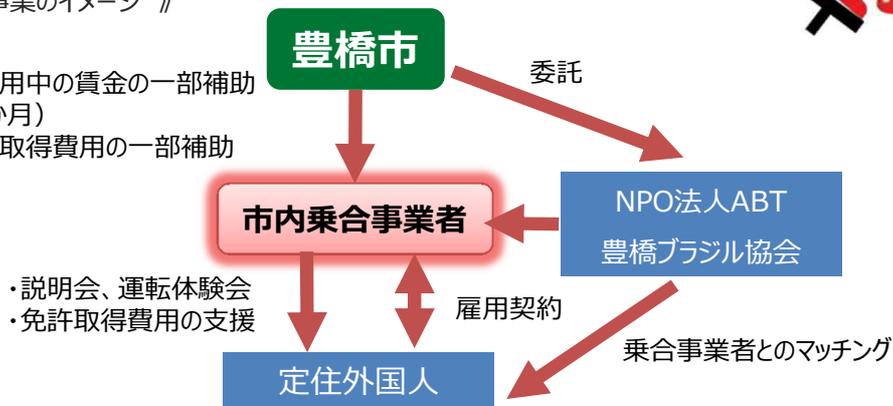
定住外国人によるバス等の運転士確保で公共交通を維持します

乗合事業の運転士として就労を希望する定住外国人に対して、乗合事業者とのマッチング等を行うことにより、恒常的な運転士不足を緩和し、公共交通の路線維持を図ります。



《 事業のイメージ 》

- ・ 試雇用中の賃金の一部補助 (1か月)
- ・ 免許取得費用の一部補助



ポイント

1. 乗合事業運転士確保支援事業 **新規**

乗合事業の運転士として就労を希望する定住外国人と運転士不足が深刻化している乗合事業者を結び付けることで、運転士不足の解消を図ります。

・ 定住外国人と乗合事業者のマッチングと選考対策

就労を希望する定住外国人に対して、乗合事業者とのマッチングを行います。マッチングにあたっては、面接対策等の選考対策を行います。

・ 乗合事業者が試雇用する際の賃金の補助

乗合事業者が定住外国人を試雇用（1か月間）する際の賃金の補助を行います。

事業費

276万円

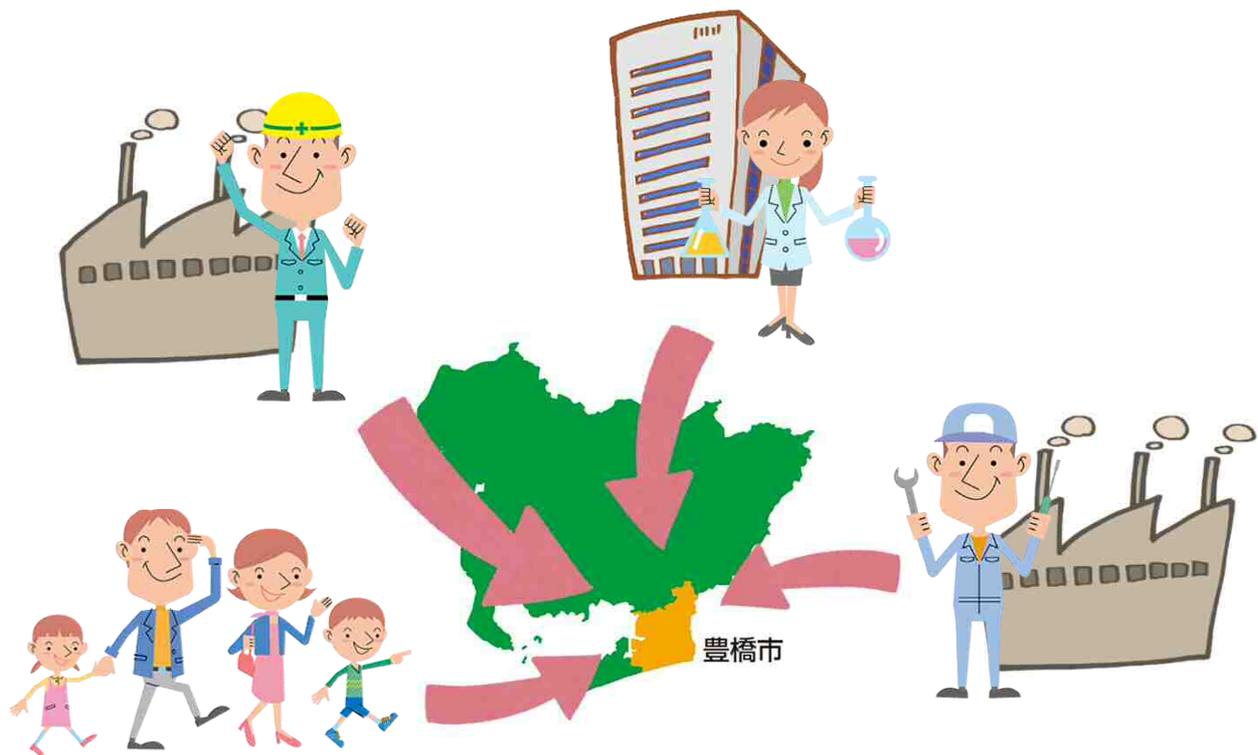
お問い合わせ

都市交通課
(0532) 51-2621
toshikotsu@city.toyohashi.lg.jp

戦略計画に基づく主な取組み

企業立地促進制度を拡充します

豊橋三弥地区をはじめとする工業団地へ研究開発型企业や優良企業の立地を促進するとともに、働く人とその家族の定住による地域活性化を図るため、企業立地促進制度を拡充します。



ポイント

- 1. 研究開発施設の立地への助成** 新規
 - 工場、倉庫等に加え、新たに研究開発施設も奨励金の対象にします。
- 2. 土地取得費用への助成** 新規
 - 工場、倉庫等の立地に係る土地取得費用の15%を助成
 - 研究開発施設の立地に係る土地取得費用の20%を助成
- 3. 転入した従業員数と児童数に応じた雇用促進奨励金を交付** 拡充
 - 立地に伴い本市へ転入した従業員1人あたり40万円の雇用促進奨励金を継続
 - 上記従業員とともに転入した児童1人あたり10万円の加算を新設

事業費

6億9,613万円

お問い合わせ

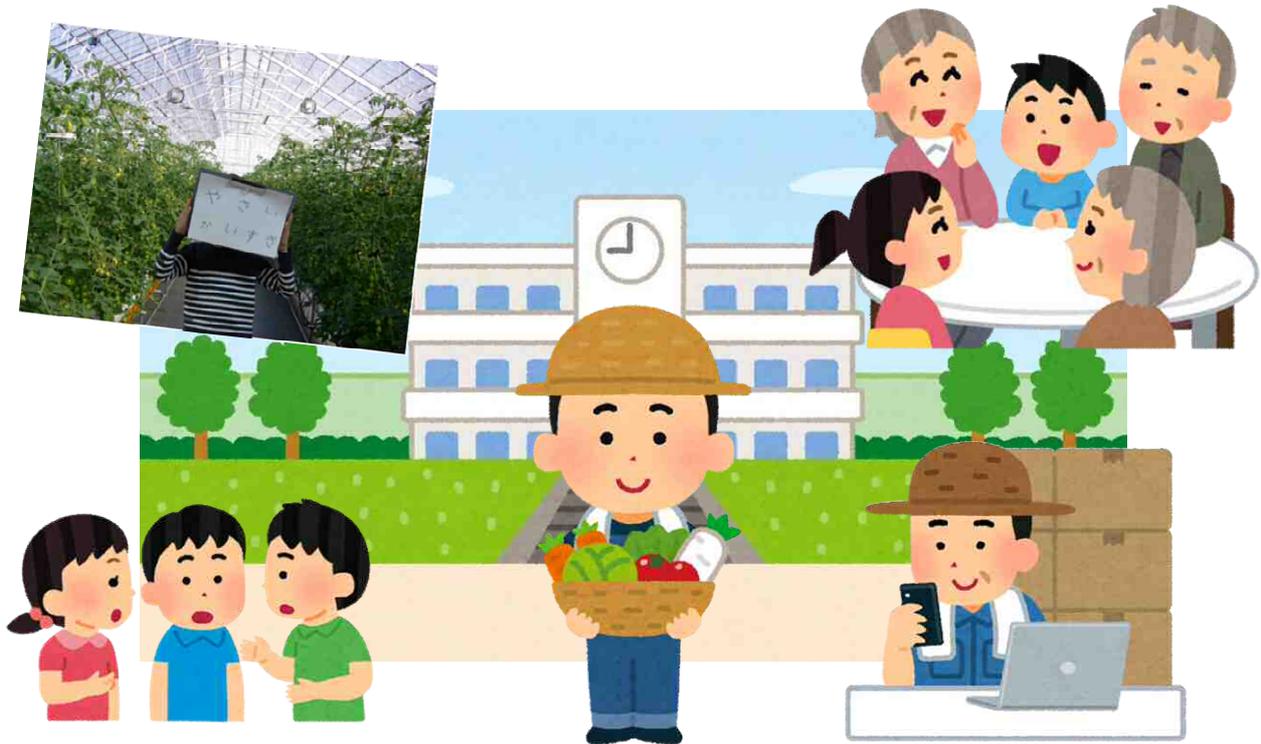
産業政策課

(0532) 51-2640

sangyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp

農業分野における多様な人材の活用を進めます

子どもから豊橋農業の魅力を発信する「キッズ豊橋農業マイスター」の育成をはじめ、農業分野と福祉分野が連携した障害者が個性を生かせる農業の形の創出、次代を担う農業後継者の確保育成を通じて農業分野における多様な人材の活用を進めます。



ポイント

- キッズ豊橋農業マイスター育成事業** 新規
 育成プログラムや体験型ワークショップを通じて豊橋産農畜産物の魅力を学んだ子どもたちを「キッズ豊橋農業マイスター」として認定し、子ども目線での豊橋の農畜産物の魅力発信に取り組みます。
- 農福連携推進事業** 新規
 くすのき特別支援学校等において障害者の就農課題解決に取り組み、障害者が個性を生かせる農業の形を創出します。
- 農業経営発展支援事業** 継続
 農業後継者の就農や経営の法人化に取り組む認定農業者の設備投資を支援し、後継者の確保や法人化を推進します。
 さらに、IoT・AI等を活用する取組みについては補助率を優遇し、新技術の導入を支援します。

事業費

1,209万円

お問い合わせ

農業支援課 [1. 2.]
 (0532) 51-2473
nogyoshien@city.toyohashi.lg.jp

農業企画課 [3.]
 (0532) 51-2457
nogyokikaku@city.toyohashi.lg.jp

地方創生の拠点となる
東三河初の重点「道の駅」

豊橋初！ 道の駅「とよはし」がオープンします

平成31年春、名豊道路七根 I C 周辺に豊橋初の道の駅「とよはし」がオープンします。食と農を軸に、まちと人、人と人をつなぐ場所である「まちのえんがわ」をコンセプトに、豊橋の魅力を発信し、にぎわいの創出に努めます。

< 道の駅「とよはし」完成イメージ >

俯瞰図



ポイント

【道の駅「とよはし」の概要】

県道を挟んで西側エリアには地域振興施設、東側エリアには駐車場と情報提供施設が整備され、東西エリアはバリアフリー仕様の地下横断通路で結ばれています。

・ 8つの店舗スペースで地元農産物を使用したメニュー等を提供

地域振興施設「Tomate (トマッテ)」では、8つの店舗スペースで地元農産物を使用したメニュー等を提供するとともに、6次産業化商品や地元特産品等を販売します。

・ 木の温もりを感じられるデザイン

「Tomate」は東三河材を使用した木の温もりを感じられるデザインで、親子で使用できるトイレや、授乳室、パウダーコーナーなどを備えています。

・ 防災活動拠点の機能の導入

防災活動拠点としての耐震性能を持ち、環境への配慮も兼ねて太陽光発電・雨水利用等の設備を備えています。

・ 道の駅食農拠点の形成

道の駅「とよはし」を拠点として豊橋農業の魅力発信を行います。

「Tomate (トマッテ)」店舗

レストラン	ベーカリー
スイーツ・ドリンク	うどん
惣菜	特産品ブース
特産品販売	食彩村

事業費

1,249万円

お問い合わせ

農業企画課

(0532) 51-2470

nogyokikaku@city.toyohashi.lg.jp

■ 観光で選ばれるまちへ！

観光客へのおもてなしを充実させます

手筒花火を核としたイベント「炎の祭典」の内容を充実するほか、道の駅「とよはし」に県内道の駅初となる「E-BIKE」の導入、豊橋駅東口ペDESTリアンデッキにフリーWi-Fiを整備するなど、本市を訪れる観光客への受入態勢を強化し、インバウンドを視野に入れた観光の振興を図っていきます。



炎の祭典の様子



おもてなしの強化



E-BIKE (イメージ)

ポイント

1. 炎の祭典 **拡充**

- ・9月の土日連続開催(計2回) … 豊橋球場
- ・3月及び11月(計4回) … 吉田城鉄橋前広場

2. おもてなし強化 **新規**

- (1) 炎の祭典でのおもてなし充実
 - ・まちなか回遊MAPの制作・配布
 - ・オリジナルサイトの制作
- (2) まちなか店舗へのインバウンド普及啓発の取組み
 - セミナー開催、個別訪問、留学生モニター検証など
- (3) 観光客向け無料公衆無線LAN環境の整備
 - 設置場所：豊橋駅東口ペDESTリアンデッキ
- (4) 情報プラザのリニューアル

3. E-BIKE (電動アシスト自転車スポーツタイプ) **新規**

道の駅「とよはし」に県内道の駅初となる「E-BIKE」を5台導入し、レンタサイクルとして運用します。
運用開始：7月以降

事業費

2,360万円

お問い合わせ

観光振興課
(0532) 51-2430
kanko@city.toyohashi.lg.jp



日本初の立体的展示を目指したライオン舎を整備します 自然史博物館で特別企画展「深海の玉手箱」を開催します

演出効果の高いライオン舎を整備するとともに、自然史博物館では特別企画展「深海の玉手箱」の開催や大型映像の3D上映により、100万人プロジェクト達成に向けて更なる魅力アップを図ります。



ライオン舎（放飼場イメージ）



ライオン舎（全景イメージ）



特別企画展「深海の玉手箱」の開催（イメージ）



3Dシアター新プログラム上映

ポイント

1. 動物園エリアのリニューアル

・ライオン舎の整備 新規

群れでの飼育や日本で初めての立体的な展示を目指したライオン舎を新たに建設します。

2. 自然史博物館事業

・特別企画展「深海の玉手箱」の開催

いまだ謎の多い世界であり、人類最後のフロンティアともいわれる深海に生きる生物、資源、それらの探索について、標本や映像を用いて紹介します。

・3D上映システムによる大型映像の上映

平成30年度のリニューアルにより日本最大級の3D上映館となった大型映像で、一般映画館では体験できない迫力のある恐竜番組などを上映します。

事業費

3億8,071万円

お問い合わせ

動植物公園 [1.]

(0532) 41-2186

doshokubutsu@city.toyohashi.lg.jp

自然史博物館 [2.]

(0532) 41-4747

shizenshi@city.toyohashi.lg.jp

東三河広域連合による旅券発給事務の開始

東三河広域連合による 一般旅券の発給申請の受理・交付が始まります

平成31年4月1日から、駅前窓口センターに併設する東三河広域連合旅券センター豊橋窓口で旅券事務を開始します。東三河広域連合が事務を処理することで東三河8市町村内のいずれの窓口でも申請できるようになります。



一般旅券（パスポート）

窓口交付のイメージ

平成31年4月1日からの申請と交付の窓口

申請	交付
東三河8市町村内の各窓口	・申請した窓口 ・豊橋窓口

ポイント

- 東三河8市町村内のいずれの窓口でも申請が可能となります。** 新規
8市町村の住民であれば、8つの窓口のいずれにおいても申請可能となります。また、申請した窓口に加え、東三河広域連合旅券センター豊橋窓口でも受取りが可能となります。
- 豊橋窓口では、日曜日でも交付に限り行います。** 新規
平日に豊橋以外の窓口で旅券の発給申請を行い、日曜日に豊橋窓口で受け取ることが可能となります。

事業費

1,761万円

お問い合わせ

市民課
(0532) 51-2265
shimin@city.toyohashi.lg.jp

東三河広域連合旅券センター開設窓口

開設窓口	開設場所	開設窓口	開設場所
豊橋窓口	豊橋駅前開発ビル4階（新設）	田原窓口	田原市役所市民課
豊川窓口	豊川市アリオ窓口センター	設楽窓口	設楽町役場町民課
蒲郡窓口	蒲郡市役所市民課	東栄窓口	東栄町役場住民福祉課
新城窓口	新城市役所市民課（新設）	豊根窓口	豊根村役場住民課

東三河4市町村に対して水道技術支援を行います

人口減少時代を迎える中、水道事業においても、「ひと」・「もの」・「かね」の確保が困難になってきています。とりわけ「ひと」である水道技術者の育成は大きな課題であることから、東三河広域連携として本市の水道技術者を東三河4市町村へ派遣し、本市水道技術者の技術力向上を図るとともに技術支援を実施していきます。

こうした取組みを行うことによって、「自治体版水メジャー」を目指し、今まで本市職員が培ってきた水道技術を活用することで、東三河の水道事業の持続に向けて取り組んでいきます。



田原市への本市水道技術者による水道施設点検等維持管理技術指導時の様子

ポイント

1. 田原市水道技術者派遣業務

拡充

平成30年度から引き続き田原市へ水道技術者を派遣し、継続して水道施設の点検等維持管理技術指導等を行いつつ、新たに施設の改良に関する技術指導を実施し、技術支援を行います。

2. 北設楽郡（設楽町、東栄町、豊根村）水道技術者派遣業務

新規

平成31年度から新たに設楽町、東栄町、豊根村へ水道技術者を派遣し、田原市と同様の指導を実施し、技術支援を行います。

事業費

お問い合わせ

上下水道局浄水課
(0532) 61-8761
josui@city.toyohashi.lg.jp

■ 法人保育所・認定こども園の整備

法人保育所・認定こども園の施設整備を進めます(4園)

就学前の子どもが健やかに育成される環境を整えることを目的に、法人保育所や認定こども園が行う施設整備に対する補助事業を、平成23年度から継続して実施しています。平成31年度は、4園の施設整備に対して助成を行います。



施設整備の事例（園舎や内装等のようす）

ポイント

1. 法人保育所等施設整備（3園）

良好な教育・保育環境を確保するため、老朽化した園舎の大規模改修に要する経費の一部を助成します。

塩満保育園

新規

飽海保育園

新規

昭和保育園

2か年目

2. 認定こども園施設整備（1園）

幼稚園から認定こども園へ移行するために必要な乳児室や調理室等の施設整備に要する経費の一部を助成します。

悟真寺幼稚園

新規

事業費

9億8,991万円

お問い合わせ

保育課

(0532) 51-2316

hoiku@city.toyohashi.lg.jp



パパママの子育てをみんなで応援します 子育て応援フェスの開催やローカルな子育て情報の充実

子育てしやすいまちを目指し、「とよはし子育て応援宣言」を推進するとともに、子ども・子育て支援に関する情報発信を充実します。



とよはし 子育て 応援宣言

子どもが幸せで、誰もが子育てを楽しめるまちにするため、私たちは、

- ・未来を創る子どもの声を、笑顔を、優しく見守ります。
- ・子育てするすべての人に寄り添い、応援します。
- ・お互いさまの気持ちで、子どもの健やかな成長を支えます。

写真：豊橋公園・吉田城 全天候画像© Code for MIKAWA (うずらインキュベータ) クリエイティブ・コモンズ・ライセンス (表示4.0 国際)
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>

ポイント

1. 「とよはし子育て応援宣言」の推進 **新規**
「とよはし子育て応援フェス」の開催など応援宣言の普及啓発に取り組みます。
2. 子育て支援情報発信の充実
 - ・ **パパママまっぷ作成システムの開発** **新規**
授乳施設や子連れランチマップ等スマホで見やすいウェブマップを作成するためのシステム。オープンデータ等を活用し、便利な子育てマップを公開していきます。
 - ・ **パパママみてみりんシステムの開発** **新規**
市内の子ども・子育てに関する最新情報がチェックできる掲示板をつくります。
 - ・ **パパママレポーターの養成** **新規**
レポーターを養成し、パパママ目線の地元の口コミ記事を充実します。
 - ・ **子育て支援ポータルサイト「育なび」のリニューアル** **拡充**

事業費

598万円

お問い合わせ

こども未来政策課
(0532) 51-2382
kodomo-seisaku@city.toyohashi.lg.jp



「健康経営」で糖尿病発症予防 健康なまちづくりを進めます

市民が生涯にわたり健やかで幸せに暮らすことができる社会の形成に向けて「豊橋市健康なまちづくり条例」が施行されます。今後様々な健康施策を実施するなかで、企業が従業員等の健康管理を経営的な視点で考え実践する「健康経営」の普及促進を図ることにより、働き盛り世代の健康増進及び糖尿病発症予防を目指します。



ポイント

1. 「とよはし健康宣言事業所」認定・表彰制度の創設 新規

市のチャレンジ項目を活用し健康経営に取り組む企業を「とよはし健康宣言事業所」として、豊橋商工会議所と共同で認定します。
優良な取組みを行った企業を、豊橋市・豊橋商工会議所・協会けんぽ愛知支部の三者共同で表彰します。

2. 「とよはし健康宣言事業所」の増加促進、取組みサポート 新規

- ・ **健康保持増進にかかる知識の普及**
豊橋創造大学と連携した健康講座を実施します。
- ・ **食生活の改善**
食生活改善推進員による出張ランチセミナーを行います。
- ・ **運動機会の増進**
三遠ネオフェニックストレーナーが監修する運動プログラムを提供します。

事業費

58万円

お問い合わせ

健康政策課

(0532) 39-9116

kenkouseisaku@city.toyohashi.lg.jp



■ 手術センター棟の開設等

平成31年4月に、手術センター棟を開設します 公立病院県下2番目! ISO15189に認定された検査体制となります

東三河の中核病院として、患者にやさしい治療の推進を図るとともに、最新の医療技術に対応するため、ダヴィンチの常設を含む内視鏡手術室2室のほか、*ハイブリッド手術室1室を設置し、高度専門医療の充実に努めます。

また、検査精度向上のため、県内公立病院では、愛知県がんセンターに次ぐ2番目の施設として、臨床検査部門における品質と能力の国際規格であるISO15189に認定された検査体制となります。



手術センター棟



ハイブリッド手術室

ポイント

【手術センター棟施設概要】

延床面積：1,529㎡

構造：鉄筋コンクリート造3階建

3階：ハイブリッド手術室 1室、内視鏡手術室 2室

2階：大型機材室、自己血採血室、幹細胞処理室等

1階：委託業者更衣室等

事業費

お問い合わせ

市民病院管理課

(0532) 33-6111

hosp-kanri@city.toyohashi.lg.jp

*ハイブリッド手術室

手術台と血管撮影装置を組み合わせた手術室のことで、手術センターと血管撮影室、それぞれの場所に設置されていた機器を組み合わせることにより、外科手術とカテーテル治療が同時に実施できるなど、最新の医療技術への対応が可能となる手術室です。

市内3か所目となる津波防災センターを整備 災害の発生に備え、防災対策を進めます

南海トラフ地震など大規模災害の被害を少しでも減らすため、防災関係機関との連携強化や災害対策本部の機能強化など防災対策を進めます。



津波防災センター(イメージ)



全天候型ドローン



総合防災訓練の様子

防災メールの
利便性向上

ポイント

- 津波防災センター整備** 新規
 津波による浸水被害が想定される梅敷地区に、市内3か所目となる津波防災センターを新たに整備します。
- 災害対策本部の機能強化**
 - 全天候型ドローンの導入、災害情報共有システムの機能強化** 新規
 豊橋市ドローン飛行隊 (RED GOBLINS) に、雨天時でも飛行可能な赤外線カメラ搭載の全天候型ドローンを導入します。また、災害情報共有システムに新たにリアルタイム被害推定機能を追加します。
- 災害対応力の強化**
 - 愛知県・豊橋市合同総合防災訓練の実施** 新規
 大規模災害に備え、防災関係機関と連携し実践的な総合防災訓練を愛知県と共同で実施します。
- 情報伝達手段の強化**
 - ほっとメールの多言語化** 拡充
 豊橋市ほっとメールの利用登録画面を多言語化。新たに英語、ポルトガル語、中国語、やさしい日本語を追加し、外国人の利便性を向上します。

事業費

2億7,649万円

お問い合わせ

防災危機管理課

(0532) 51-3116

bousaikikikanri@city.toyohashi.lg.jp

津波避難ビルとして活用できる前芝出張所を整備 消防防災活動拠点の機能を強化します

市北西部方面の消防活動拠点の中心となる前芝出張所を新規整備し、大規模災害時等の対応強化を図ります。また、庁舎の長寿命化を図るため南消防署庁舎の大規模改造工事のための実施設計を行います。



前芝出張所

工事期間	平成30・31年度 2か年継続事業
建物構造	庁舎：鉄筋コンクリート造 3階建 車庫：鉄骨造平家建
建物面積	延べ面積 794.00㎡



南消防署庁舎

設置年	昭和55年
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 3階建
建物面積	延べ床面積 1600.57㎡

ポイント

1. 前芝出張所の整備

【主な特徴】

- ・建物本体を利用した実践的な消火訓練や救出訓練が実施可能
- ・女性専用の仮眠室や浴室等を整備
- ・庁舎屋外階段を利用して津波避難ビルとして活用

【工事期間】 平成30・31年の2か年継続事業

【運用開始】 平成32年4月予定

2. 南消防署の大規模改造実施設計

【改修内容】

- ・建物の機能回復：屋根・壁の防水工事やクラック等の補修
- ・設備の機能回復：給排水設備、電気設備等の補修
- ・職場環境の改善：仮眠室の個室化（女性専用仮眠室等含む）

事業費

2億7,406万円

お問い合わせ

消防本部総務課

(0532) 51-3110

shobo-somu@city.toyohashi.lg.jp

自転車の「快適」で「安全」な利用を一層進めます

「豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例」を制定し、自転車をかっこいい乗り物として、通勤・通学のみならず、レクリエーションなど自転車そのものを楽しんでもらえるよう、自転車通行環境の整備や乗車用ヘルメットの着用促進を図り、快適で安全な自転車利用の拡大を目指します。



ポイント

1. 快適な自転車利用

- (1) **自転車通行空間整備**
安全で快適な自転車利用環境を整備します。
- (2) **サイクリングコースの環境整備** 新規
道の駅を起点としたサイクリングコースの環境を整備します。
- (3) **道の駅でレンタサイクル開始** 新規
道の駅にレンタサイクルとして「E-BIKE」を導入します。
- (4) **サイクルピット整備** 拡充
サイクリング中に気軽に立ち寄り、休憩や、簡易なメンテナンスを行える環境を整備します。
- (5) **サイクリングマップ作成** 新規
渥美半島や浜名湖方面など、広域展開を視野に入れたサイクリスト向けのサイクリングマップを作成します。
- (6) **電動アシスト自転車購入補助**
電動アシスト自転車購入に対して補助金を交付します。

2. 安全な自転車利用

- (1) **高校生自転車プロジェクトなど** 新規
自転車事故を防止する取組みを高校生と共に検討します。交通児童館開館50周年記念のイベントにおいて安全な自転車利用の周知を図ります。
- (2) **自転車ヘルメット購入補助** 拡充
自転車ヘルメット購入に対して補助金を交付します。

事業費

6,169万円

お問い合わせ

道路建設課 [1.(1), 1.(2)]
(0532) 51-2526
dorokensetsu@city.toyohashi.lg.jp

観光振興課 [1.(3)]
(0532) 51-2430
kanko@city.toyohashi.lg.jp

都市交通課 [1.(4), 1.(5)]
(0532) 51-2620
toshikotsu@city.toyohashi.lg.jp

温暖化対策推進室 [1.(6)]
(0532) 51-2419
ondanka@city.toyohashi.lg.jp

安全生活課 [2.(1), 2.(2)]
(0532) 51-2550
anzenseikatsu@city.toyohashi.lg.jp

■ 西口住宅建替事業

子育て世帯や高齢者にやさしい西口住宅1号棟が完成します

平成31年3月中旬に完成する西口住宅1号棟は、子育て世帯用住戸から高齢者用住戸まで備えた、高機能かつ幅広い世帯に開かれた住宅となっています。

31年度は第2期事業の解体工事に着手します。

西口住宅1号棟

所在地	豊橋市高師町字北原
建物構造	鉄筋コンクリート造 9階建
敷地面積	6,659.57㎡
延床面積	6,714.05㎡

部屋タイプ		戸数
1DK	単身高齢者用	26戸
2DK	一般用	45戸
2DK	高齢者用	27戸
3DK	一般用	16戸
3DK	子育て世帯用	7戸
合計		121戸



ポイント

1. 西口住宅1号棟の特徴

・ 子育て世帯から高齢者まで幅広いニーズに対応

子育て世帯用住戸を配置し、若い世帯を呼び込むことで周辺地域の活性化を図るとともに高齢者にやさしい住宅を目指します。

入居者のニーズに対応した主な設備

子育て世帯用住戸	・ 汚れが落ちやすい壁紙を使用
高齢者用住戸	・ 洋室、浴室、トイレに非常用押しボタンを設置 ・ 靴の脱ぎ履きのため、玄関に折りたたみ椅子を設置 ・ 本市の市営住宅で初めてエアコンを設置（単身高齢者用）
駐車場	・ 介護者専用の駐車区画を設置

・ 本市の市営住宅として初めて原則敷地内禁煙を実施

受動喫煙防止、火災予防を推進するとともに、子育て世帯や非喫煙者にやさしい住宅を目指します。

既存入居の喫煙者に限って住戸内のみ喫煙可としますが、今後はすべて禁煙住戸として募集します。

2. 平成31年度の主な事業内容

解体工事（西口改良住宅D・E棟、西口住宅F棟（西））

事業費

2億2,620万円

お問い合わせ

住宅課

(0532) 51-2602

zyutaku@city.toyohashi.lg.jp

■ 駅前大通公共駐車場（第1）のリニューアル

駅前大通公共駐車場（第1）をリニューアルします

高齢者や子育て中の方も駐車しやすいように、一部の駐車枠を拡大するほか、場内の塗装の塗り直しにより明るく、利用しやすい駐車場に改修します。

【公共駐車場リニューアル計画】平成31年度 駅前大通公共駐車場（第1）
平成32年度 駅前大通公共駐車場（第2）



管理室見える化



駐車枠の拡幅

整備イメージ

ポイント

【整備内容】

（1）内部塗装及び駐車枠の拡幅

- ・場内を塗装し、明るくイメージアップします。
- ・駐車枠を一部拡大し、高齢者や子育て中の方などのために思いやりスペースを設置します。

（2）歩行者通路の改修及び場内満空表示灯の設置

- ・空車スペースが一目で分かるように、満空表示灯を設置します。

（3）管理人室の見える化及び防犯カメラ更新

- ・管理室内の見える化や、防犯カメラを更新して、安心して駐車できるようにします。

※平成16年度から平成17年度にかけて実施した、エレベータ、換気装置及び車止め設置工事、トイレ改修工事以来の大規模工事となります。

事業費

1億3,661万円

お問い合わせ

土木管理課

(0532) 51-2507

dobokukanri@city.toyohashi.lg.jp

豊橋から芸術文化を発信します

豊橋で創造した優れた舞台芸術作品を全国に向けて発信するとともに、市民がより質の高い芸術文化に触れられる機会を提供します。

【平成31年度の主な公演】

「荒れ野」



平田 満 桑原 裕子

「ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト2019日本ツアー」



ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト

浮ヶ谷 孝夫

「松竹大歌舞伎」



松本 幸四郎 松本 白 鸚

「CITY」



柳楽 優弥 井之脇 海

「私たちは何も知らない」



永井 愛 朝倉 あき

ポイント

- 1. 穂の国とよはし芸術劇場制作公演演劇賞受賞記念特別事業** 新規

 - 第5回ハヤカワ「悲劇喜劇」賞受賞、第70回読売文学賞受賞
 - 穂の国とよはし芸術劇場プロデュース「荒れ野」豊橋公演、東京公演
 - 桑原 裕子 作・演出 平田 満、井上 加奈子、増子 倭文江、中尾 諭介、多田 香織、小林 勝也 出演
 - 時期：平成31年12月13日（金）～15日（日）（豊橋公演）
平成31年12月18日（水）～23日（月）（東京公演）
- 2. 豊橋青少年オーケストラキャンプ10回記念事業** 新規

 - ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト2019日本ツアー
 - 指揮：浮ヶ谷 孝夫 ソリスト：辻田 薫り
 - 時期：平成31年 5月24日（金）
- 3. その他注目の公演** 新規

 - 松竹大歌舞伎 東コース
 - 松本 幸四郎改め 二代目 松本 白 鸚 襲名披露
市川 染五郎改め 十代目 松本 幸四郎 襲名披露
 - 彩の国さいたま芸術劇場、マームとジプシープロデュース「CITY」
 - 柳楽 優弥、井之脇 海、宮沢 氷魚、青柳 いづみ 出演
 - 二兎社「私たちは何も知らない」
 - 永井 愛 作・演出 朝倉 あき 出演

事業費

1億8,044万円

お問い合わせ

「文化のまち」づくり課
(0532) 51-2873
bunka@city.toyohashi.lg.jp

国際性豊かな人材育成を目指し、 リトアニア・ドイツと交流を深めます

平成28年度にホストタウン登録を行ったリトアニア・ドイツを中心に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿を誘致し、スポーツ交流・国際交流を通してスポーツの振興やオリンピック・パラリンピックの機運醸成を図ります。



ポイント

- 1. リトアニア・パラリンピック選手団の事前合宿を実施**
世界で活躍するパラリンピアンが豊橋市において、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた合宿を行います。また、選手団と市民とのパラスポーツを通じたスポーツ交流会を開催します。
- 2. 豊橋まつり等でホストタウン相手国紹介ブースを設置**
リトアニア及びドイツと本市との交流を紹介するブースを設置するなど、オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図ります。
- 3. リトアニアで開催されるオリンピックデイに出展 新規**
オリンピックデイにて、豊橋市の歴史・文化・スポーツ等のPRを行います。
- 4. リトアニア・パネヴェジス市とパートナーシティ協定締結に向けて始動 新規**
豊橋市長を団長とする豊橋市友好訪問団をリトアニア・パネヴェジス市へ派遣します。
- 5. リトアニアへ各訪問団を派遣 新規**
市民の方にリトアニアを身近に感じていただく機会を提供するため、豊橋市民で構成される友好親善市民訪問団の派遣、また豊橋市中学生海外派遣事業においては、初めてリトアニア・パネヴェジス市へ派遣します。

事業費

4,537万円

お問い合わせ

「スポーツのまち」づくり課 [1. 2. 3.]

(0532) 51-2367

sports@city.toyohashi.lg.jp

多文化共生・国際課 [4. 5.]

(0532) 51-2054

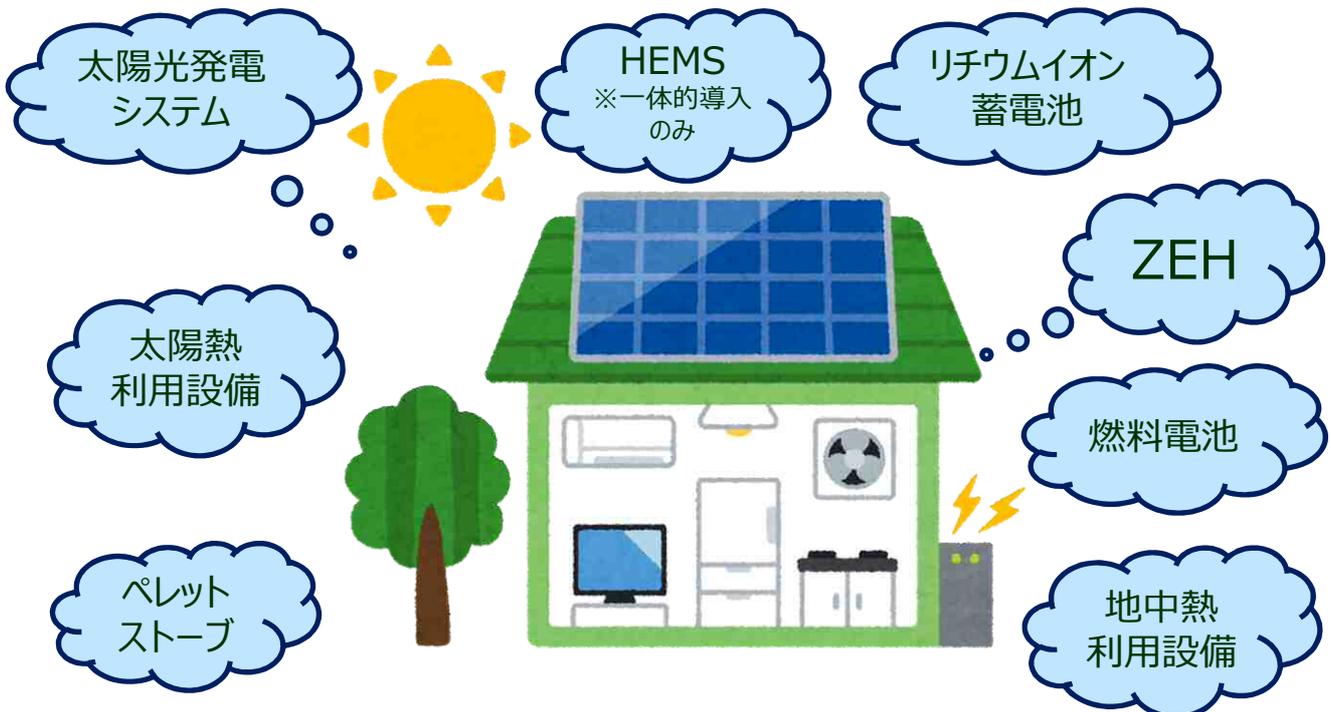
kyoseikokusai@city.toyohashi.lg.jp



地球に優しく、効率的なエネルギーの自家消費を進めます

エネルギーの効率的な利用や家庭で作られた電力の自家消費、また、卒FIT※の対策を推進するために新たな補助項目を追加します。

※卒FIT…住宅用太陽光発電の固定価格買取制度（FIT制度）による10年間の余剰電力の買取期間が、2019年11月から順次、満了を迎えること。



ポイント

1. 太陽光発電による電力の自家消費の普及促進 新規

・ネット・ゼロ・エネルギーハウス（ZEH）による補助

【対象】 国が実施するZEH支援事業の交付を受ける住宅
【補助額】 一律20万円

・一体的導入による補助

【対象】 太陽光発電システム・ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）・リチウムイオン蓄電池を同時に導入する住宅
【補助額】 一律16万円

2. 既築住宅への蓄電池設置による電力の自家消費の普及促進 新規

【対象】 既築住宅にリチウムイオン蓄電池を設置する場合
【補助額】 一律5万円（新築住宅は一律4万円）

3. 豊橋市地産地消エネルギー指針（仮称）の策定 新規

再生可能エネルギーの導入促進や電力の地産地消の仕組みを構築するためのビジョンを策定

事業費

5,537万円

お問い合わせ

温暖化対策推進室
(0532) 51-2419
ondanka@city.toyohashi.lg.jp

■ ごみ減量対策の推進

古紙のリサイクルをパワーアップします

ダンボールや雑がみといった、リサイクルできる古紙がもやすごみに多く出されています。古紙のリサイクルを適正に行うことで、更なるごみの減量を推進します。



ポイント

1. 地域資源回収の活性化

・古紙回収ボックスの貸出 拡充

古紙の回収方法の充実を図るため、地域資源回収登録団体へ古紙回収ボックスを貸し出します。

・雑がみ分別袋の配布 拡充

幼いころから雑がみ分別に取り組むきっかけを作り、ごみに対する理解を深めるため、配布対象を保育園・幼稚園・認定こども園にも広げます。引き続き、小学生・中学生がいる世帯にも配布します。

・雑がみグランプリの開催

地域資源回収に出された雑がみの総重量を競う、第2回雑がみグランプリを開催します。

2. イベントなどによる啓発 拡充

530のまち環境フェスタなどでのイベント会場で、雑がみの回収を行い、雑がみを始めとした古紙回収の輪を広げます。

事業費

435万円

お問い合わせ

環境政策課

(0532) 51-2414

kankyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp

■ 地域の消費喚起の推進

消費税・地方消費税率引き上げへの対策を行います

消費税・地方消費税率引き上げが消費に与える影響を緩和するとともに地域における消費を喚起・下支えするため、プレミアム付商品券を発行することに加え、商業団体による取組みを支援します。



ポイント

1. プレミアム付商品券事業 新規 子育て世帯及び低所得者向けにプレミアム付商品券を発行

購入対象者：3歳未満の子が属する世帯の世帯主
市民税非課税者
使用開始日：10月1日（予定）
購入限度額：販売額2万円（券面額2.5万円）
割引率：20%
使用可能店舗：市内の店舗を幅広く公募
ただし、たばこ等一部の商品には使用不可

2. 商業団体共同事業補助金 拡充 増税対策として行う大売出しなど新規の取組みにかかる経費を補助

補助率：補助対象経費の1/2 以内
補助上限額：50万円

事業費

19億1,095万円

お問い合わせ

商工業振興課
(0532) 51-2425
shokogyo@city.toyohashi.lg.jp



誰もが安心して快適に生活できる 「AIケアシティ」の実現を目指します

近未来技術等を活用して、個人の状況に応じた最適なケアが受けられる環境を整備し、健康寿命の延伸と労働生産性の向上を図ります。



ポイント

- 1. AIを活用した自立支援促進事業**
全国初の取組みとなった「AIを活用したケアプランの作成支援」を引き続き実施します。
- 2. 対話型問合せ対応システム構築に向けたデータ整備等** 新規
対話型問合せサービスを試験的に導入し、窓口案内に活用するとともに問合せデータを収集してFAQの整備を進めます。
- 3. AIを活用した特定健康診査未受診者への勧奨** 新規
特定健康診査の未受診者に対してAIを活用し、受診履歴や結果をもとに、対象者の特性や受診率予測に基づく勧奨を実施します。
- 4. 分身ロボットを活用した院内学級等への教育支援** 新規
入院等で学校に通えない子どもが、授業等に遠隔参加できる分身ロボットを導入し、学習支援や心のサポートを行います。
- 5. 予防型交通安全対策事業**
市内の交通ビッグデータを分析して危険個所を抽出し改修を行うとともに、改修後の効果を分析します。

事業費

1,393万円

お問い合わせ

- 長寿介護課** [1.]
(0532) 51-2338
choju@city.toyohashi.lg.jp
- 情報企画課** [2.]
(0532) 51-2080
joho@city.toyohashi.lg.jp
- 健康増進課** [3.]
(0532) 39-9141
kenkouzoushin@city.toyohashi.lg.jp
- 学校教育課（教育会館）** [4.]
(0532) 33-2113
gakkoukyoiku@city.toyohashi.lg.jp
- 安全生活課** [5.]
(0532) 51-2550
anzenseikatsu@city.toyohashi.lg.jp

■ 全日本選抜競輪（G I）の開催

豊橋競輪場初のビッグレース 全日本選抜競輪（G I）を開催します

豊橋競輪場初となる全日本選抜競輪（G I）を開催します。全国各地より選抜されたトップ選手によるレベルの高い魅力的なレースが繰り広げられ、全国から多くの来場者が集まる中、豊橋競輪場、豊橋市をPRします。



開催中はグルメやステージショーなど家族で楽しんでいただけるイベントを多数実施します。

ポイント

1. 開催概要

開催名称 第35回読売新聞社杯全日本選抜競輪
開催日程 平成32年2月8日（土）～11日（火・祝）
出場選手 S級選手 108名
優勝賞金 2,800万円

2. 一般会計繰出金 拡充

競輪事業の収益の一部を一般会計へ繰出し、小中学校の整備等に活用しています。

平成31年度予算額 4億円

事業費

売上見込 88億円

お問い合わせ

競輪事務所
(0532) 61-3136
keirin@city.toyohashi.lg.jp



ええじゃないか豊橋